

札幌市保健所では、“食品Gメン”こと「食品衛生監視員」のお仕事体験を通じて、子どもたちに食の安全について知識や理解を深めてもらうため「子ども食品Gメン体験事業」を実施しています。

親子で

市場で“食品Gメン”体験！～札幌市中央卸売市場～

流通

新鮮な魚や野菜が各地から集まってくる「札幌市中央卸売市場」は“市場のための市場”です。

この市場で食の安全を守っている“食品Gメン”のお仕事を市内の小学4～6年生が体験しました。

施設見学では、セリの様子やマグロの解体を見学し、低温管理されているカニやタコの管理状況をチェック。保健所の検査室では、「手洗いチェッカー」や汚れが数値化される「ルミテスター」などの機器を使った検査を体験し、市場で行われている食の安全のための取り組みを学んでもらいました。

見学先 札幌市中央卸売市場（札幌市中央区北12条西20丁目）

日時 平成24年8月2日（木）6時30分～11時15分

参加者 小学4～6年生の親子9組18名



子ども

参加された方の声（参加者アンケートから）

大人

- 検査室でのルミテスターを使ったよごれを調べるのが楽しかった。これからも安全な魚や青果を食べられるようにがんばってほしいです。
- 魚のことや細菌の検査など、色々なことをしているのがよくわかりました。
- 市場の事が分って魚の事やいろいろな実験が出来るととても勉強になりました。来年も参加したいです。
- 市場の皆さんは、すごくやさしかったので安心感があった。これからもがんばってほしい。

- 市場をまわっている時も気軽に質問ができてよかった。普段見ることができない場所、魚等を見ることができてとても勉強になりました。
- 市場見学を通して食について考えることができました。子どもは検査ができて楽しく参加できました。あらためて手洗い・うがいの大切さを感じました。
- 保健所の仕事は大人にも子どもにも良く知られていないので、とても良いイベントだと思いました。普段入ることのできない所へ入れたところも良かったです。
- 市場を通して流通している食品が管理されていて、安全なことが理解できました。

◎“食品Gメン”とは？

札幌市保健所や保健センターにいる“食品Gメン”。正式には「食品衛生監視員」といいます。

食品衛生監視員は、飲食店やスーパー、食品工場などの立入検査や食品の抜き取り検査のほか、食中毒の調査を行ったり、市民の皆さんからの相談に対応するなど、札幌市の食の安全を守るため日々働いています。

札幌市中央卸売市場を担当する食品衛生監視員は、毎朝4時45分から、市場でのセリが始まる前に、毒のある魚介類やキノコが混入していないかなどのチェックを行っています。